答弁 いわてデスティネーションキャンペーンに合わせ、奥州商工会議所が主体となって「奥州はっとフェア２０１２」を実施し、普及の促進を図っている。

質問 いわてデスティネーションキャンペーンの効果がホテルの予約などに現れているのか。また「奥州はっと」については「あんかけうどん」と同様に市民の認知度が低いのではないかと思う。まず市民自身がファンにならなければ普及も進まないのではないか。

答弁 どんとこい奥州誘客促進会議の中に旅館組合も構成団体になって様々なキャンペーンにも参加しているが、大きな効果はまだ現れていない。「奥州はっと」の認知度の不足については、試食会を行なったり、産業まつりにも出品するなど認知度の向上に努めている。

建設環境部門

質問 水道事業における包括的業務委託の効果について、どのような検証をしているか。

答弁 平成22年度から料金収納、開栓業務等包括的に民間への業務委託を実施したが、21年度の直営時との比較では、委託費と市職員人件費の対比で２億８８２２万円の節減になっており、収納率が向上している。又、10人の地元採用があり、雇用拡大としての効果も表れている。23年度には、委託先との災害協定の締結をし、災害発生時にはサポートできる体制になっている。

質問 道路維持管理経費の予算によって、地域要望に対して、どれだけ対応できるのか。

答弁 地域要望を聞く会を設けて要望を受け、新年度の予算には、若干の上積みをして要望に応えるべく努力をしているが、要望を満たすには程遠く、対応の仕組みづくりを考えている。

質問 農業集落排水事業の計画と、その進捗状況はどのようになっているか。

答弁 農業集落排水事業による下水道の整備は、平成26年度に完成見込みの前沢の町地区が終われば終了となる。今後は、合併浄化槽の設置により水洗化率の向上を目指す。

質問 東日本大震災により発生した沿岸部の瓦礫処理が進まず、復興の障害となっているが、市として、処理受入についてどのように考えているのか。

答弁 復興支援については、民間団体を含め、取り組んでいる。瓦礫の処理については、奥州金ケ崎広域行政事務組合で対応することとなるが、必要な手順を踏んで進める。試験焼却の結果など住民説明を行い、万全の態勢を整え取り組んでいく。

質問 放射能の除染業務委託は、具体的にどのような内容か。

答弁 今までに、線量の高い学校・保育所等で除染を実施してきたが、公共施設において、体育館、地区センターを含め５００を超える施設で、今後除染が必要であると考えており、当面それに必要な予算として、５千万円を計上している。

今後も続けられる公共施設の除染作業

予算審査特別委員会附帯意見

会　　計	内　　容
奥州市一般会計	1　第２次行財政改革については、スピード感をもって対応されたい。 2　孤独死を防ぐため、更なるネットワークを構築するなど対策を進められたい。 3　外国人講師については、直接雇用に向け努力されたい。 4　子どもの居場所づくり事業については、人員配置や施設整備などの充実を図られたい。 5　奨学金貸与事業については、入学金の貸与や返済猶予期間など更に検討されたい。 6　平泉の世界遺産登録を機に、観光基本構想の見直しと、力強い事業推進を図れたい。 7　放射能被害から奥州市の農林畜産物を守る取り組みを強化されたい。 8　放射能汚染被害対策は、状況に応じ速やかに対応されたい。
奥州市国民健康保険特別会計	前沢診療所、衣川診療所の医師確保に努力し、経営改善に努められたい。
奥州市国民宿舎等事業会計	国民宿舎サンホテル衣川荘の復旧工事の推進に努められたい。